



第40号にあたって

雪国の冬が終わり、桜咲く春が訪れました。新入生や新社会人としての一歩を踏み出す人も多いと思いますが、新しい環境に早く慣れ、新たな人間関係をうまく築くようにお願いします。それには、十分な睡眠とバランスのとれた食事、わからないことは早めに同僚などに相談すること、友人・家族との会話、休日は仕事から離れて体を動かすなどしてリフレッシュすることが大切です。精神面の不調がみられたら早めに相談機関や医療機関を頼ってください。例年みられるアルコールの一気に飲みは絶対やってはいけません。



今回は、病気の知識として、「肋骨骨折（打撲）」を取りあげました。また、窓口アンケートの結果を掲載しました。最終ページには、診療時間、交通アクセス、救急疾患検索サイトのアドレス（QRコード）が掲載されていますのでご利用下さい。

混雑状況の確認方法

スマホやパソコンから、混雑しやすい内科・小児科・整形外科の現在の混雑状況が確認できます。スマホやパソコンの当センターホームページにある下のバナーをクリックすると確認できます。

スマホの場合は、右の二次元コードでも確認できます。混雑状況は刻一刻と変わるのでご注意ください。

現在の / 内科 小児科 整形外科

診療・混雑状況を確認できます

病気の知識

肋骨骨折(打撲) “高齢者や多発骨折では肺の合併症に注意！”

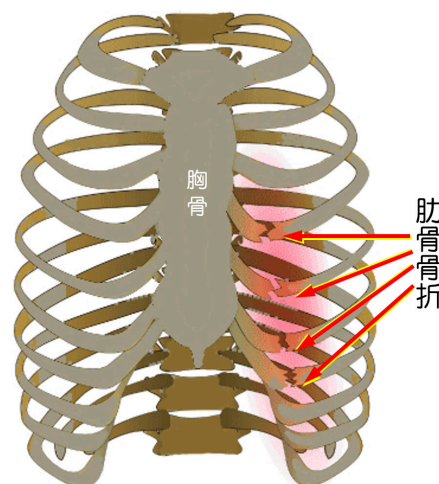
肋骨（ろっこつ）は左右12対の細長く曲がった骨で、籠のように胸部を覆い、心臓や肺などの胸部をはじめ、肝臓などの一部を覆っています。肋骨にヒビが入ったり、折れるのが「肋骨骨折」です（右下図）。肋骨骨折はレントゲン撮影ではわかりにくい場合があり、骨折のない打撲と診断された場合でもヒビを生じていることもあるので、下記に注意して慎重に様子みてください。

【原因】

原因はいろいろで、机やタンスにぶつける、交通事故でのシートベルトの圧迫やハンドルの強打、階段など高いところからの転落、柔道、ラグビーなどのスポーツ、ゴルフのスイングなどがあります。高齢者や骨粗しょう症では、くしゃみや激しい咳、寝返りでも肋骨骨折を生じることがあります。

【症状】

- ①骨折部位の強い痛み
この痛みは深呼吸、くしゃみ、せき、体をねじった時などにさらにひどくなります。
複数の肋骨が骨折している場合はさらに痛みは強くなります。
- ②局所の腫れや皮下出血
- ③肺損傷による気胸、血胸、呼吸困難、ショック
肺を損傷して穴が開くと肺がしぼんで気胸になります（次頁図）。また、血管や肺が損傷して肺と胸壁の間に血液がたまる血胸、呼吸困難やショックがみられ命に関わる場合があります。



通常時間に病院へ
行く

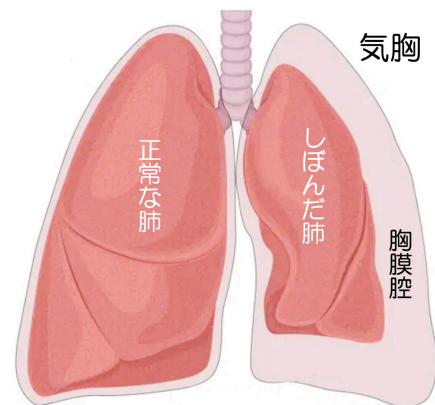
- ・痛みが軽度な場合には、消炎鎮痛剤の内服と湿布などで経過をみます。
- ・痛みがやや強い場合には、バストバンド（右下図）等の固定帯による圧迫固定を追加します。

至急病院へ
行く

- ・痛みが強い場合、局所の腫れや皮下出血がひどい場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。
- ・肋骨3本以上の骨折がある場合や、肺などの内臓に損傷がある場合などは入院し、外科的な治療が必要ながあります。

救急車を
呼ぶ

- ・大きな交通事故や転落事故、家庭内の打撲でも息苦しいなど呼吸困難がみられたら、命にかかわりますので救急車を呼んで下さい。



【予後と合併症】

- ・若・壮年者の臓器損傷を伴わない1～2本の肋骨骨折は、大きな問題なくほとんどが治癒します。
- ・高齢者の場合や3本以上の多発肋骨骨折では、命の危険に関わるケースも珍しくなく、血胸、気胸、無気肺や肺炎などの合併症を生じる割合も高くなります。

【重大な合併症】

- ・気胸、血胸：折れた肋骨の先端が原因で、気胸（肺の空気が漏れる、右上図）や血胸（血液がたまる）がおきることがあります。脳梗塞や心臓病（狭心症や心房細動など）で血液をサラサラにする薬（抗凝固薬、抗血小板薬）を服用している場合は、わずかな出血が続き血胸になることがあるので、受傷後しばらくの間は、特に注意が必要です。
- ・肺炎、無気肺：痛くて深く息を吸えないため肺が縮み、痰が詰まって無気肺や肺炎を起こすことがあります。

【治療後の注意】

①患部の安静

- ・肋骨骨折での受診後は、約3～4週間（完治まで2～3カ月）は激しい運動、重い物を持つ、体をひねることは避けて下さい。
- ・寝る時は患部を下にしないで下さい。痛い場合は上体を少し起こして寝るとよいでしょう。

②肺炎の予防

- ・痛みで呼吸が浅くなると肺の奥まで空気が届かず肺炎のリスクが高まるので、バストバンド固定中も意識的に深呼吸や軽い咳払いをして下さい。

③日常生活の注意

- ・バストバンドは指示通りに着用して下さい。
- ・炎症が強い初期（数日～1週間程度）はシャワーのみにして下さい。
- ・禁煙

④再受診

- ・新たな症状（呼吸が苦しくなる、発熱、咳や痰、増強する痛み）がみられた場合や症状が良くならない場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。

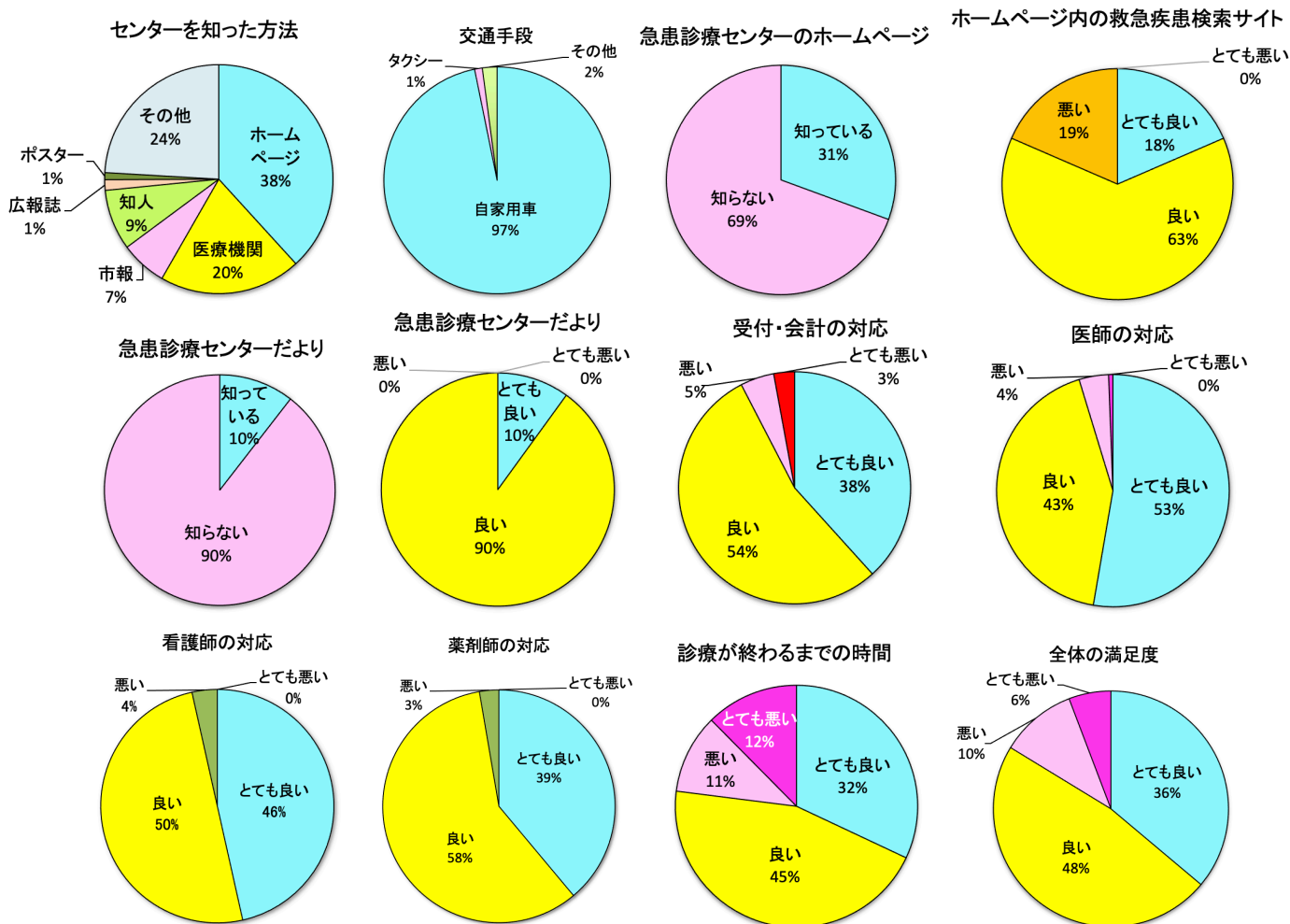
【肋骨骨折（打撲）の診断で帰宅後の注意事項】

肋骨骨折（打撲）で受診後に、新たな症状（呼吸が苦しくなる、発熱、咳や痰、増強する痛み）がみられた場合や症状が良くならない場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。

特に、複数本の骨折の人、血液をサラサラにする薬（抗凝固薬、抗血小板薬）を服用している人、高齢者は、受傷後の症状に十分注意し、気になる症状があったらすぐに医療機関を受診して下さい。

急患診療センター 窓口アンケート結果について

当センターでは、毎年受診された患者さんに窓口アンケートを実施しており、昨年11月12日～26日に実施した結果の一部を紹介します。総受診者数2,337名、回答者数190名、回答率は8.1%でした。昨年は、インフルエンザの大流行が例年より早く始まり、アンケートの期間中は発熱患者さんが多く待ち時間も長かったため、回答率が例年より低く評価も低くなりました。具合が悪くての受診のかたわらアンケートにご協力いただいた方に感謝し、今後の急患診療の質の向上に役立たせていただきます。



Q & A (質問に答えて)

Q：深夜受診時にレントゲン検査ができないと言われましたが、なぜですか？

A：当センターは一次救急を担当しており、軽症で帰宅可能な患者を診る施設となっています。

しかし、休日や夜間に具合が悪くなった患者さん本人や家族が、軽症かどうかを確実に判断することはできません。軽症と思って受診した患者の中には、診察後に入院が必要と判断され病院に転送する場合があります。

そのため、当センターの診療時間内は、何時でもレントゲン検査ができることは望ましいのですが、放射線技師の確保が困難なため実現していません。レントゲン検査がないと診療できない整形外科の診療時間では何とか可能ですが、それ以外の時間帯、特に平日午後10時から翌朝7時まではレントゲン撮影ができません。

レントゲン検査ができない時間帯で、診察の結果レントゲン検査が緊急に必要と判断した場合には、検査が可能な医療機関に転送しますので、ご理解とご協力をお願いします。



診療時間



★土曜日の在宅当番医

【産婦人科】

午後2時～午後6時
 (当番医はホームページ
 「新潟市産婦人科医
 会」に掲載されます)

当番医は、当センター
 にもお問い合わせでき
 ます。

| 診療科目 | 診療日 | 診療時間 |
|----------------------------|-------|--------------------------------------|
| 内科 小児科 | 平日 | 午後7時～翌日午前7時 (受付時間：午後7時～翌日午前6時30分) |
| | 土曜 | 午後2時～翌日午前9時 (受付時間：午後2時～翌日午前9時) |
| | 日曜・祝日 | 午前9時～翌日午前7時 (受付時間：午前9時～翌日午前6時30分) |
| 整形外科 | 平日 | 午後7時～午後10時 (受付時間：午後7時～午後9時30分) |
| | 土曜 | 午後3時～翌日午前9時 (受付時間：午後3時～翌日午前9時) |
| | 日曜・祝日 | 午前9時～午後10時 (受付時間：午前9時～午後9時30分) |
| 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳外科 | 平日 | 診察はしていません |
| | 土曜 | 診察はしていません |
| | 日曜・祝日 | 午前9時～午後6時 (受付時間：午前9時～午後5時30分) |



＜急患診療センターの理念＞

市民と共に
 市民に信頼される
 救急医療の継続提供をめざします

＜理念の説明＞

- ① 市民の理解と協力、支援により円滑な運営が可能になります
- ② 職員は、質の高い急患診療を提供できるよう努力いたします
- ③ 超高齢社会、医師不足のなか、診療体制の維持継続を行うことが必要です

あとがき

電子カルテ導入にあたりご協力ありがとうございました。ウクライナ戦争の開始から4年、終結しないうちに、イラン戦争も始まり石油危機が起きています。日本は原油の94%を中東に依存しており、日常生活や経済への影響は計り知れません。長期に続けば、電気・ガス代や物価の高騰、ガソリンや軽油不足による物流への影響、プラスチック製品、肥料、化学薬品、特に医薬品や医療材料(ディスプレイ)不足が懸念されます。私たちは、電気やガソリンなどの石油製品を節約し、戦争の終結を願うことしかできません。

新潟市急患診療センター
 ホームページ
<https://www.niigata-er.org>



新潟市医師会
 救急疾患検索サイト
<https://www.niigata-er.org/search/>



小児救急ハンドブック
 (新潟市)
 URLは変更になることがあります。



発行：一般社団法人 新潟市医師会
 〒950-0914
 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号